

『サステナブル社会・経済学部門』

回数	年度	内 容	氏 名
第1回	平成18年	サステナビリティを達成するための新たな交通システムの研究	田中 勝昭 [環境経営学会 産業調査委員会 幹事]
		韓国の環境農業直接支払いに関する調査研究	深川 博史 [九州大学大学院 経済学研究院 教授]
		CSR活動による社会影響定量化手法に関する研究 -社会変化の特定-	本田 智則 [産業技術研究所 ライフサイクルアセスメント研究センター研究員]
第2回	平成19年	国有林管理における企業参加の意義-「法人の森林」制度を対象として-	赤池 慎吾 [東京大学大学院 農学生命科学研究科 博士課程]
		CSR活動の光と影-CSR理念が従業員にもたらす効果	片桐 恵子 [日本興亜福祉財団 社会老年学研究所 主任研究員]
		地域ブランド食品による地域経済振興の実証分析	福重 元嗣 [大阪大学大学院 経済学研究院 教授]
		食品業界におけるゼロエミッション活動の評価に関する研究	山本 佳世子 [電気通信大学大学院 情報システム学研究科 准教授]
第3回	平成20年	健康・教育・経済を考慮した製品ライフサイクル社会影響評価手法の開発	伊坪 徳宏 [武蔵工業大学 環境情報学部 准教授]
		持続可能な森林経営に向けた森林警察の役割とその課題-インドネシアにおける違法伐採問題を事例として-	御田 成顕 [筑波大学 生活環境科学研究科 博士課程]
		中国農民の消費パターンの解明と消費シミュレーション分析	仙田 徹志 [京都大学 学術情報メディアセンター 准教授]
		住民の視点からみた野生復帰の意義と役割-コウトリとトキの野生復帰を通じて	本田 裕子 [東京大学 農学生命科学研究科 学術研究支援員]
第4回	平成21年	利用されつづける天水 -沖縄県今帰仁村古宇利島における水道の導入と水利用の変遷を事例として-	松崎 今日子 [早稲田大学 人間総合研究センター 客員研究員]
		函館西部地区バル街の研究 -評判の形成・発動メカニズムと地域活性化-	松下 元則 [函館大学 商学部 専任講師]
		水産物エコラベルの消費者選好研究 -消費者の意識に与える情報の影響について	馬奈木 俊介 [横浜国立大学 経営学部 准教授]
		JEPIXによる企業外部費用の包括的算定にもとづく企業サステナビリティの社会的評価	宮崎 修行 [国際基督教大学 教養学部 教授]
第5回	平成22年	バイオ燃料の持続可能性評価 -地産地消による環境保全と地域振興の両立-	本藤 祐樹 [横浜国立大学大学院 環境情報研究院 准教授]
		アジアグリーンビジネスプラットフォームに関する研究	森 博美 [国際グリーン購入ネットワーク 事務局 事務局長]
		資源循環型社会形成における市民力の活用とその効果	西尾 チヅル [筑波大学大学院 ビジネス科学研究科 教授]
第6回	平成23年	グリーンウォッシングと多数のエコラベルの存在による環境コミュニケーションの問題点と解決法	片岡 顯 [国際グリーン購入ネットワーク 事務局 課長]
		グローバル下でのアグロフォレストリーの変容と生態系に調和した地域社会の創出 -インドネシアにおけるフェアトレードコーヒー栽培を例として-	原田 一宏 [兵庫県立大学 環境人間学部 准教授]
		社会的敵意ネットワーク再編から見る「首都圏農業の持続可能性」についての研究	船戸 修一 [法政大学 サステナビリティ研究教育機構 研究員]
		日本企業の環境保全活動を生態系サービスへの支払い(PES)の視点から分析しPESの促進条件を考察する	松下 和夫 [京都大学大学院 地球環境学堂 教授]
環境政策優先度指数:日本版(JEPIX)の批判的検討による、理論的に精緻な「新JEPIX」の創造	宮崎 修行 [国際基督教大学 教育学部 教授]		
第7回	平成24年	家庭での食事並びに外食の献立(メニュー)のCO2排出量の検討	稲葉 敦 [工学院大学 工学部環境エネルギー化学科 教授]
		個人の認識差を考慮した効率的な環境関連市場制度の検討	岩田 和之 [高崎経済大学 地域政策学部 講師]
		経済活動が災害リスクを高める状況における、持続可能な経済成長の可能性に関する研究	堀井 亮 [東北大学 大学院経済学研究科 准教授]
		モーター関連材料のマテリアルフロー調査	松八重 一代 [東北大学 大学院工学研究科金属フロンティア工学専攻 准教授]
		サプライチェーンを通じた環境経営の移転・普及メカニズムに関する研究	村上 一真 [一般財団法人 アジア太平洋研究所 研究グループ副主任研究員]
第8回	平成25年	リン資源の持続的循環再利用システムの社会実装を促進するための構造的アクター解析	大竹 久夫 [大阪大学大学院 工学研究科 教授]
		貧困削減や環境保全等、途上国の社会課題解決における、企業の社会貢献活動やBOPビジネス等に関する調査	一般財団法人CSOネットワーク
		市民環境活動の自発的実践に関する調査研究 -エコマテリアルが果たすべき役割とは-	篠原 嘉一 [一般社団法人 未踏科学技術協会 エコマテリアル・フォーラム 幹事長]
		「地域協働型」再生可能エネルギー導入の現状と推進のためのガバナンス構築に関する実証的研究	平岡 俊一 [北海道教育大学 教育学部 講師]
		低炭素都市/社会とフェアトレードの普及拡大に向けた要素の検討	渡来 絢 [川崎市環境総合研究所 特任研究員]
第9回	平成26年	貿易自由化と環境配慮型農業	松本 茂 [青山学院大学 経済学部 教授]
		諫早湾干拓地農業における生活・労働環境に関する研究-共栄干拓地と新干拓地の比較から-	開田 奈穂美 [東京大学大学院 人文社会系研究科 博士課程3年]
		日本におけるエシカル購入の取り組み実態調査と今後の方向性	深津 学治 [グリーン購入ネットワーク 事務局 事務局次長]
		伊豆大島における災害復興を通じての循環型社会の形成	千葉 勝吾 [大島海洋国際高等学校 校長]
		ライフサイクル思考の学びに基づく意識及び行動変化に関する調査研究	松本 真哉 [横浜国立大学 大学院環境情報研究院 教授]

『サステナブル社会・経済学部門』

回数	年度	内 容	氏 名
第10回	平成27年	食料生産及び地域活性化と両立する再生可能エネルギー発電に関する研究-土地利用のあり方に着目して-	野津 喬 [実践女子大学 生活科学部 准教授]
		家計間での私的相互援助の実態の多国間比較:持続可能な社会保障システム,コミュニティ,幸福度を巡って	江口 友朗 [立命館大学 産業社会学部 准教授]
		2020年東京オリンピック・パラリンピックをエシカル・オリンピックにするための諸方策に関する研究	中原 秀樹 [東京都市大学 環境学部 教授]
		エシカル消費と消費経験-企業・消費者間相互作用に基づく消費経験の形成-	井上 綾野 [目白大学 経営学部 准教授]
第11回	平成28年	再生可能な地域資源を活用したサステナブルデザインによる、新しいものづくり・サービス産業の実証モデル	益田 文和 [多摩美術大学 美術学部 生産デザイン学科 客員教授]
		適正な報酬での取引を目指す生産者の自立的取り組み-ペルー南部のアルパカ飼養者を事例に	佃 麻美 [京都大学大学院 人間・環境学研究科 博士後期課程3年]
		持続可能な森林管理の担い手である林業の賃金・離職に関する研究	林 宇一 [宇都宮大学 農学部森林科学科 助教]
		砂漠化対処と干ばつの影響緩和に向けた多基準社会的意思決定法による持続可能な水資源管理	秋山 知宏 [東京大学 大学院新領域創成科学研究科 サステイナビリティ学グローバルリーダー養成大学院プログラム助教]
		脱成長・定常経済への移行の可能性-生活者の実践と意識に関する調査-	枝廣 淳子 [東京都市大学 環境学部 教授]
第12回	平成29年	定常経済への移行を推進する要素と阻む要素:実践者・生活者・経済学者への調査を通して	枝廣 淳子 [東京都市大学 環境学部 教授]
		持続的かつ効率的な水利用に向けた森林流域の清澄水供給ポテンシャル評価	芳賀 弘和 [鳥取大学 農学部 准教授]
		パリ協定後の「脱炭素経済」においてカーボン・プライシングがイノベーションに与える影響に関する研究	諸富 徹 [京都大学 大学院経済学研究科 教授]
		SROIを用いた環境演劇ワークショップのもたらす社会的インパクトの評価	蓮行 [京都外国語大学 外国語学部 非常勤講師]
第13回	平成30年	近江商人の経済哲学を基にした社会貢献活動の定量評価	小野 雄也 [東京都市大学環境学部環境マネジメント学科 准研究員]
		人口成長と枯渇資源が経済成長に与える影響についての理論分析および実証分析	佐々木 啓明 [京都大学大学院経済学研究科 教授]
		森林生態系サービスを活用した地域社会の持続性に関する研究-福島県只見町を事例として	杉村 乾 [長崎大学環境科学部人間社会環境学系 教授]
		持続型農業イノベーション普及の規定要因分析:総合的病害虫管理技術IPMを事例として	福川 信也 [東北大学大学院工学研究科 准教授]
		国連「2030アジェンダ」が目指す持続可能な世界の実現に向けた学際的研究	水島 朋則 [名古屋大学大学院法学研究科 教授]